

保育付き講座

子育て中の女性のための講座

わたしの声を発見する 母親たちと共に行う表現活動の映像作品の上映とトーク

保育付き

現代における子育ての孤立と向き合い、母親が自分の「声」に耳を傾け表現するプロセスから生まれた映像作品を上映します。

場 ひばりが丘公民館

対象 子育て・子ども支援に関わる女性

定員 18人(申込多数の場合抽選・保育利用者優先)

保育 6か月以上就学前の乳幼児12人(1歳未満は3人程度)

費用 保育おやつ麦茶代180円

申込 3月3日(火)17時までに電話か申込

フォームでひばりが丘公民館へ(定員に満たない場合、保育を利用しない方は申込順で3月12日(木)17時まで申込可)



Dismantling Motherhood 2024 (C)坂本夏海

回	月日	内容	講師
☆	3/8 (日)	(10時～11時半) ★保育説明会・オリエンテーション (保育利用者は必ず出席)	保育員・担当職員
①	3/15 (日)	(10時～12時) 母親たちと共に行う表現活動の 映像作品上映とトーク 『Dismantling Motherhood (母性再考)』 (監督:坂本夏海、38分、2024年) 『Singing Together in a Museum 公共空間とケアする身体』 (監督:坂本夏海、12分、2025年)	坂本夏海 (アーティスト) ※② 3/22 はオンライン登壇 齋藤梨津子 (早稲田大学文化構想学部助手)
②	3/22 (日)	(10時～11時半) 「ケアする人のケアはどうする?～声に出会うために必要なこと」 (11時半～12時) 保育報告会	坂本さん 齋藤さん (「Photo:Alan Dimmick」) 保育員・担当職員

谷戸 保育付き講座受講者の 絵本の展示会

保育付き講座で作成した絵本をロビーで展示します。講師のアドバイスを受けながら、本気で作った作品を是非ご覧ください。

時 2月4日(水)正午～17日(火)まで
場 谷戸公民館



講座報告 ひばりが丘公民館主催

子育て中の人のための講座 「子どもの声の聴き方・伝え方のヒント」(全4回)

令和7年10月25日(土)～11月30日(日)10時～12時

保育付き・オンライン併用で開催／講座延べ55人、保育延べ30人が参加

第1・2回は地域で発達障害児者支援を実践されている平雅夫氏から、子どもの行動や困りごとの背景にある「感覚の特性」や「トレーニング法」を学びました。「近づいてきたボールが蹴れない」「板書ができない」場合の、風船や紙飛行機を追いかける遊びを通したトレーニング方法など、すぐに取り入れられるヒントをいただきました。第3回は地域で親子支援を実践されている富樫京子氏から、「転んだ時の大人の反応で、子どもは泣いたりケロッとしていたりする」「共感しても同化はしない」「相手を変えたいときは自分を変えてみる」など「親も子ども大切に」する親子関係のための手がかりを学びました。第4回は、成長がゆっくりなお子さんの気持ちや行動の背景を保育園の先生が「謎解き」をするように寄り添ってくれたというエピソードから、「人と人のつながりのなかで、共同で子どもを育てる」という営みの意義や価値を再確認する一方で、「市場化する子育て」から透けて見える社会の側の課題にも目を向けるこ

とができました。

参加者からは「子どもも親も肯定してもらえてよかった」「子どもが起こす行動には理由があり、行動そのものよりもなぜそうなったかを考えることが重要」「アドラー心理学に通じる内容がより脳科学的に解釈できた」「今の社会は子どもも真ん中と言いつつ経済が中心、という言葉に共感した」「この春から公民館の講座に参加するようになり、自分と向き合うことで家族や周りの人と関わりやすくなったことを実感している」などの感想をいただきました。全4回を通して、多様な価値観と視点、様々な立場からの視座があることを共に学び、子育ての「正解はひとつではない」こと、「答えは子どもの中にある」と気づくことができた講座でした。



平雅夫氏



第4回講師 城田美好氏(左)
すわいこ氏(右)

公民館の保育室 をご存じですか?ぜひご利用ください♪

公民館保育室を親子で見学・体験!

保育付き主催講座やサークル活動に親が参加している間、お子さんが2時間を過ごす公民館保育室ってどんなところでしょう?まずは親子で見学・体験してみませんか。

対象 市内在住の6か月以上就学前の乳幼児とその保護者

定員 各8組(申込順)

申込 電話で希望する公民館へ(日程は下記のとおり)

時 10時～11時

※詳細については各館へお問い合わせください。

ひばりが丘公民館	2月27日(金)
柳沢公民館	3月4日(水)



保育付き講座の受講を希望する方へ

- 保育付き講座に初めて参加する方を優先します。
- 同時期に複数の保育を利用することはできません。
- 説明会には必ず参加してください。
- 保育の利用は市内在住者に限ります。
- 保育対象は6か月以上就学前の乳幼児12人(1歳未満は3人程度)

西東京市公民館の『公民館保育』は、単にお子さんを預かるのではなく、保護者が学習すると同時に、子どもたちも保育を通じて、ほかのお子さんとのふれあいによって学び、成長するという考えで行っています。

西東京市6つの公民館中、柳沢、田無、芝久保、谷戸、ひばりが丘の5つの公民館には公民館保育室が設置されています。5つの館では、保育付き連続講座が開催されます。また、サークル活動にも公民館保育室を利用できます。

公民館保育室を利用して 親子で癒され 成長できました!



田無公民館保育付き講座参加者の声

- 娘と二人での生活が不安で、逃げるように申し込んだ保育付き講座で本当に救われました。
- 初めて公民館の保育室を利用して、最初の不安は、預けて良かったなあという気持ちに変化しました。
- 公民館保育室での些細なことも、子どもにとっては大きな経験だということが一番の学びでした。
- 公民館保育室で年上の子に優しく接していただき、大きい子の子供が子どもの学びになっていました。
- 一人の時間が欲しいと願うのはわがままかも?と思いつつ、保育付き講座に参加しましたが、親も子どもも成長できました。
- ふだん他のお子さんと遊ぶことはほとんどないのですが、公民館保育室では他のお子さんたちとの関わり合いが見られて微笑ましく、たくさんの刺激を受けました。

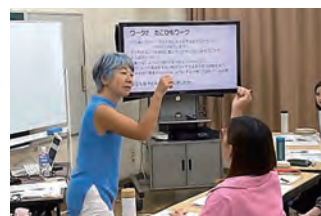
保育員専門研修報告

令和7年10月9日(木)10時～12時

講師: 富樫京子さん(一般社団法人「ぼろのいえ」代表理事、臨床発達心理士SV.)

長年療育機関に従事し、発達の専門家としてたくさんのお子さんと関わり保護者に寄り添われている富樫京子さんを講師にお招きし、専門研修を実施しました。参加した22人の保育員と職員は「肯定的な質問のワーク」「視線の合わないお子さんを想定したワーク」「子どもと大人の力関係を感じるワーク」等を体験し、「発達理論」に裏打ちされた講師の豊富な実践から多くの気づきをいただきました。また「咀嚼が弱いお子さんへのおやつ提供」「保育室でのお子さんの様子の伝え方」「年齢差のある子ども同士への対応」等、公民館保育室の課題をグループで話し合い、講師からフィードバックをいただきました。

研修の振り返りシートには「肯定的な質問のワークから、言葉のやりとりによって自分の気持ちが変わるのがよくわかった」「目に見える成長は評価できるが、目に見えない感情(気持ち)の評価は難しく個人の考えや受け取り方で変わることを学んだ。今後はその点を意識したい」「安全を気遣うあまりマンツーマン対応になりがちだった」「保育室の保育は家庭での子育てと同じ」とらえ直すことができた。異年齢保育の良さを伝えていきたい」「保育する側／される側という関係ではなく、子どもたちと思いつき遊んでもよいのだと気づいた」等の前向きな感想が寄せられました。



実演中の
富樫京子さん(左)

